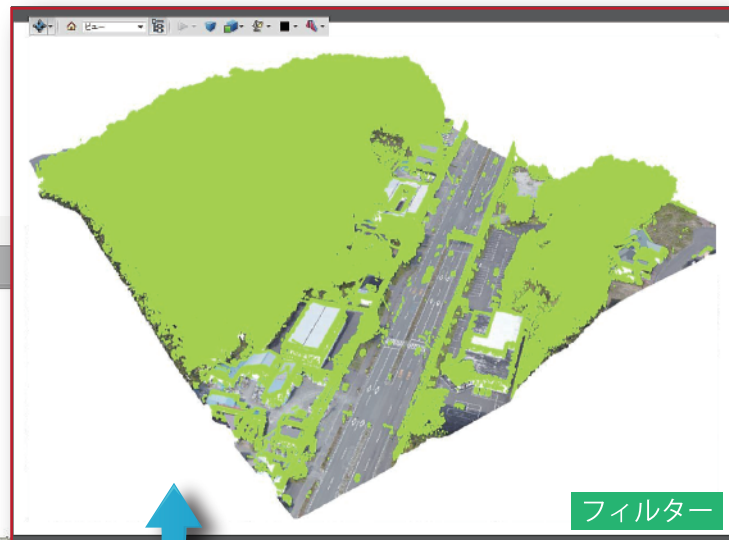
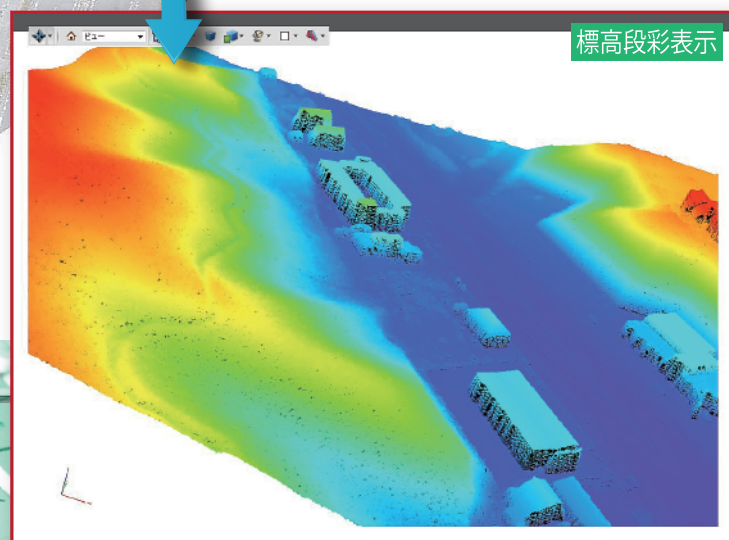
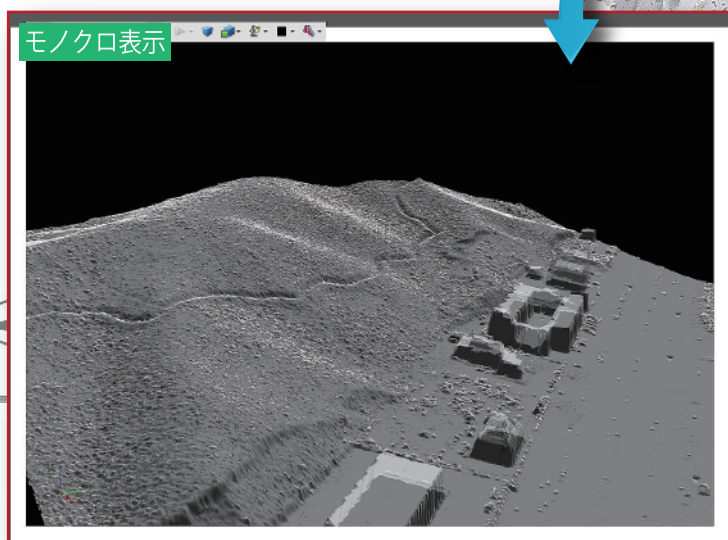




モデルから各種 PDF
ファイルを書き出します

PDF 3Dファイルを活用するために

- ・ACROBAT PDF 3D の機能をフル活用する
(レイヤー管理など)
- ・大量点群データへの対応 (200 億点まで確認済み)
- ・等高線の発生機能
- ・3DCAD データの表示機能
- ・2D/3D ビューア機能・標高段彩表示
- ・断面確認機能



3DモデルデータをPDFに変換するコンバーター

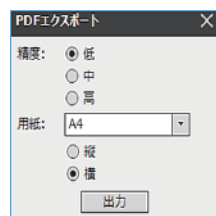
3D PDF 作成アプリケーション

MSF PDF3D CONVERTER

エムエスエフ ピーディーエフスリーディー コンバーター

●PDFエクスポート

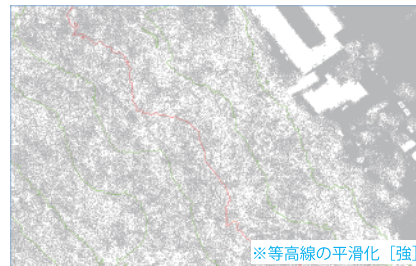
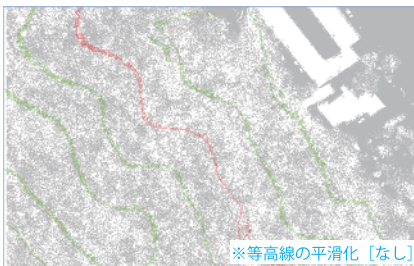
作成済みのモデルデータ、または読み込んだ座標データを 3D PDF として作成できます



- ◎精度 3D PDF の品質精度を設定します。作成時の処理時間にも影響するため初回作成時は【低】をおすすめします。
- ◎用紙 3D PDF を表示する画面サイズを設定します。縦向きと横向きが選択可能。
- ※座標データ・面データ・等高線データ・CAD データが 3D PDF にて表示されない場合は、表示設定の各項目が非表示に設定されている可能性があります。3D PDF として表示するデータは必ず表示の設定に変更し出力。

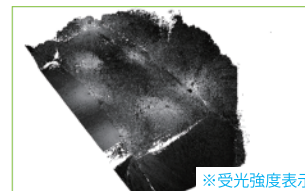
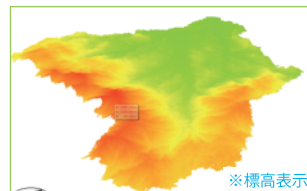
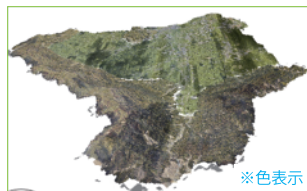
●等高線

モデルデータから等高線を作成できます。



●有効点

座標の色を指定した色に変更できます。



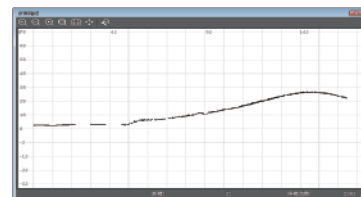
●CADデータ

インポートした CAD データの表示と色を設定できます。



●断面確認

モデルデータの断面を確認できます。始点を終点を指定し、表示に使用する座標データの選択します。



●表示設定



モデルデータの面データの表示を設定できます。



●動作環境

OS Microsoft® Windows10 / Windows8/8.1 / Windows7 (各 OS 全て日本語版 64bit)

記憶媒体 内臓 SSD 推奨

メモリー 16GB 以上推奨

ディスプレイ 1024×768 以上の解像度推奨

プロセッサ Intel Core i5 以上または AMD A10 以上推奨

グラフィックボード オンボード以上推奨

※インストール時に CD-ROM ドライブを使用します。 ※USB プロテクター用に USB 規格 1.1 準拠のポートを 1 つ使用します。
※Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国またはその関連会社の商標です。 ※Microsoft .NET Framework Ver4.6.1 を使用しています。
※インテルおよび Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。 ※AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。



URL www.miraisystem.jp/
株式会社 未来システム工房

本社 〒065-0022 北海道札幌市東区北 22 条東 3 丁目 1-35
ハイテクビル・さっぽろ 141



Tel 011-792-5211 Fax 011-792-5555

関東営業所 〒260-0045 千葉県千葉市中央区弁天 1-15-3

ビズサークル千葉駅前オフィス 33 号

静岡営業所 〒421-1215 静岡県静岡市葵区羽鳥 5 丁目 14-37

大阪オフィス 〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新 3 丁目 13-7-202

九州営業所 〒811-3103 福岡県古賀市中央 3 丁目 7-8

販売元